

1 事業概要

事務事業名		交通安全事業		課名	危機管理室	事業No.	39
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める			
	分野別計画						
法令・例規等		安全都市宣言					
		飯田市交通安全条例					
事業目的	対象	歩行者および自転車・自動車運転者等すべての道路利用者					
	意図	交通安全講話および交通指導所等の交通安全啓発活動により、市民の交通安全意識の高揚を図り、地域内交通事故数の低減を目的とする。					

2 事業内容

30年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	・交通安全への意識高揚に資する活動（交通安全講話、高齢者家庭訪問、交通指導所、パトロール及び人波作戦）を年間を通して行いました。 ・各地区の自主的な交通安全講習会に対し、補助金を交付しました。 ・次世代の交通安全リーダー及び啓発活動のメンバーとしての飯田交通少年団の活動について、年間計画に基づき事業を行いました。	交通安全啓発品及び事業用消耗品		514
交通安全講習会補助金			117	
その他の経費			106	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績		
	交通安全教室実施	回	99	90	110		
	高齢者家庭訪問	戸	70	30	100		
	交通安全パトロール・広報活動	回	80	80	80		
	人波作戦・指導所実施	回	75	70	75		
	交通少年団の活動	回	7	7	7		
	シートベルト着用の啓発活動	回	6	6	6		

30年度決算(千円)	予算額		1,315	特定財源内訳及び補足事項			
	決算額		737				
	財源の状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
	一般財源	737					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	11	10	2	1,315	737	交通安全事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	交通事故の発生件数は大幅に減少してきているが、引き続き高齢者関与事故及び夜間の横断事故に留意する必要があります。
上記の課題解決のための有効策	高齢者家庭訪問や安全講話で夜光反射材の活用、加齢による身体能力の低下について、広報啓発を実施します。
次年度に向けての取り組み	交通安全啓発活動を強化し、交通事故抑止に努めます。特に高齢者の事故防止のための研修会、講習会を実施します。